



令和2年度  
医学部入学定員増員計画

熊大経企第22号  
令和元年9月9日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人熊本大学長  
原 田 信 志



「地域の医師確保等の観点からの令和2年度医学部入学定員の増加について（令和元年9月2日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	経営企画本部課長 ・ 三浦 牧人
	TEL	096-342-3971
	FAX	096-342-3007
	E-mail	sgo-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

大学名	国公立
熊本大学	国立

1. 現在(令和元年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
115			690

↑  
(収容定員計算用)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
(ア)入学定員	115	115	115	115	115	115	690
(イ)2年次編入学定員							0
(ウ)3年次編入学定員							0
計	115	115	115	115	115	115	690

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和2年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
105			630

↑  
(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア)入学定員	105	105	105	105	105	105	630
(イ)2年次編入学定員							0
(ウ)3年次編入学定員							0
計	105	105	105	105	105	105	630
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和2年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110			640

↑  
(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア)入学定員	110	110	105	105	105	105	640
(イ)2年次編入学定員							0
(ウ)3年次編入学定員							0
計	110	110	105	105	105	105	640
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 5

↑  
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	5
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	
計	5

# 1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 | 5

## (1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
熊本県	5
計	5

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

## (2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	H30地域枠定員 (※1)	H30貸与者数 (※2)	R1地域枠定員 (※1)	R1貸与者数 (※2)	H30とR1の貸与 者数のうち多い 方の数
熊本県	10	6	10	5	6
計	10	6	10	5	6

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和2年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置  
1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和元年度に実施した地域枠学生の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
			うち臨時定員分					
熊本県医師修学資金地域枠(推薦入試Ⅱ(地域枠))	(i) 推薦入試(指定校推薦を含む)	別枠(先行型)	5	5	大学入試センター試験、推薦書、調査書、志望理由書(地域医療に対する抱負や意見について800字程度)及び面接の成績により総合的に判断します。	推薦要件は、志望学科への入学の意志が強く、かつ将来、熊本県の地域医療を目指す者で、次の(1)~(4)までの全ての要件を満たすもの(1)高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校を平成30年3月卒業した者及び平成31年3月卒業した者(2)上記(1)の教育施設において、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者(3)平成31年度大学入試センター試験の5教科7科目以上(13.選抜方法)参照。熊本県医師修学資金の賞与を受け、入学することを確約できる者	H22	
熊本県医師修学資金一般枠(推薦入試Ⅱ(一般枠))	(iv) その他※備考欄に詳細を記入	手挙げ(事後)	5	5	(推薦入試Ⅱ(一般枠))大学入試センター試験、推薦書、調査書及び面接の成績により総合的に判定します。 (一般入試)大学入試センター試験(国語、地歴・公民、数学、理科、外国語)、個別学力検査(数学、理科、外国語)及び面接を課します。幅広く基礎学力、論理的思考力、判断力、表現力、問題解決能力及び医学への意欲の観点から総合的に評価・選抜を行います。	推薦入試Ⅱ(一般枠)は推薦入試Ⅱ(一般枠)または推薦入試Ⅱ(医学部)医学入試により、入学する者及び在学生のうち貸与を希望する者から5人を選考する。貸与者が募集定員に満たない場合は、年度途中に追加募集を実施する。	H21以前	

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
合計			10	10				
熊本県医師修学資金地域枠(推薦入試Ⅱ(地域枠))	(i)推薦入試(指定校推薦を含む)	別枠(先行型)	5	5	大学入試センター試験、推薦書、調査書、志望理由書(地域医療に対する抱負や意見について800字程度)及び面接の成績により総合的に判断します。	推薦要件は、志望学科への入学の意図が強固、かつ将来、熊本県の地域医療を目指す者で、次の(1)～(4)までの全ての要件を満たすもの(1)高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を平成31年3月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者(2)上記(1)の教育施設における評定平均値が4.0以上であって、将来、熊本県の地域医療において中心的役割を担う人材であると判断でき、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者(3)令和2年度大学入試センター試験の5教科7科目以上(「3.選抜方法」参照。)を受験した者(4)合格した場合、熊本県医師修学資金の貸与を受け入学し、在学中は継続して貸与を受けけることを確約できる者(注)卒業後の一定期間、熊本県知事が指定する地域の病院等で勤務していただきます。	H22	
合計			5	5				

(※1)貴大学にて作成予定の学生募集要項の事項をそのままご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

(※1)貴大学の学生募集要項の事項をそのままご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

②令和2年度に実施する地域枠学生の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

## 1-2. 教育内容

① 地域枠学生が卒業後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和2年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、必修科目「早期臨床体験実習Ⅰ」にて、療養型病院など地域の医療・介護・福祉の現場で患者や住民の側から医療・福祉をみる体験を積み、患者と接する態度を学び、3年次には、必修科目「早期臨床体験実習Ⅲ」にて、熊本県内各地の診療所等での体験実習を通し、地域医療への理解を深めている。また、平成30年度より「特別臨床実習」の地域医療実習を必修化し、地域医療に関する教育を充実させている。

(参考: 記入例)  
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和2年度からは、■を新7に開始するなど、～を図ることとしている。

② (過去に地域枠を設定したことがある場合) これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

(参考: 記入例)  
平成21年度から地域枠による増員を開始し、熊本県医師修学資金・地域枠の周知、地域枠学生へのキャリア形成支援などの取組を行ってきた。令和元年度までに77名の地域枠学生を確保し、そのうち16名が現在、臨床研修を終え、県内の各地域で医師として地域医療に貢献している。

③ 上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の 別	単位 数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1	早期臨床体験実習Ⅰ	全員	必修	必修	実習	1.5	H27
2	早期臨床体験実習Ⅱ	全員	必修	必修	実習	1	H28
3	早期臨床体験実習Ⅲ	全員	必修	必修	実習	1	H29
4	医療と社会	全員	必修	必修	講義	1	R1
4	公衆衛生学	全員	必修	必修	講義	4	H21以前
5.6	特別臨床実習	全員	必修	必修	実習	38	H30

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみ)の場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：○週間)	プログラムの概要(1～2行程度)	開始年度
全学年	夏季地域医療特別実習	全員	熊本県寄附講座「熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学 講座」が主体として開催	3日間	熊本県医師修学資金被貸与者と自治医科大学学生(熊本県出身)が協力を、聞き取り調査等により、地域の問題点を探り出す。	H21以前
全学年	地域医療ゼミ	全員	熊本県寄附講座「熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学 講座」が主体として開催	毎月1回開催	地域医療に関して、教員によるレクチャー、学生による発表会を実施。	H21以前

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域科学生」「全員」のうちから選択ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和元年度以前から継続する取組を含む)(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要(1～2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。



1～2に記入したものの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)  
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

オープンキャンパスに参加する受験生や保護者等を対象に熊本県医療政策課による熊本県医師修学資金の説明の時間を設け、より広く制度を周知。